

課題番号3

課題名	重点課題1 農業ビジネスマインドを持つ農業者の育成 農の成長産業化推進事業を活用した農業経営強化の取組	
対象： 経営発展志向農業者37名	計画期間：H29～33	事務所名：南河内農と緑の総合事務所
普及課題	活動方法	活動成果
①経営強化意識の向上 ②経営強化支援	①個別面談 ②「経営強化コンサルプロジェクト事業」を活用した個別指導	①農家カルテ作成、重点指導者の選定 経営課題の明確化、支援策樹立37名等 ②「コンサル事業」を活用した経営強化取組開始18名（ブランド化、労務管理、GAP導入検討等）

総合評価（コメント）
<p>A：6名 B：1名 C：1名</p> <p>■これまでにない難しい普及の取組み。農家の反応は前向きであり良い。農家の意欲を高める研修も大事。</p> <p>■個別指導による普及活動を進めていく上で、所内の体制づくりやコンセンサスを得た点が評価できる。</p> <p>■課題設定の理由や、コンサル事業に普及活動がどのように関与しているのか不明確。</p> <p>■取組み対象が明確である。指導要員体制から見ると対象者が多いのではないか。農の成長産業化推進事業への依存度が高いと思われる。事務所独自の取組みが薄れる。</p> <p>■経営意欲を高めるためのコンサル事業についても今後はさらに力を注いでほしい。</p> <p>■2人チームで面談し経営概況を把握する農家カルテを導入し、多角的かつ専門的な支援、アドバイスをしている。</p> <p>■抽出された課題を解決して、最終的な目標を達成するためには高いハードルがある。それに対するアプローチ方法について検討をしていく必要がある。</p> <p>■意欲ある農家がカルテにより経営分析で収入を伸ばせば、近隣の農家の意欲が高まるだろう。</p>

評価 A: おおむね適切である。 B: 部分的に検討が必要である。 C: 見直しが必要である。

普及指導計画への反映状況等
<p>■本課題については、新しい取組のため試行錯誤しながら進めてきたので、いただいた意見を今後の活動に生かしていく。</p> <p>■課題設定の理由、コンサル事業における普及活動の関与、事務所独自の取組についてご指摘いただいたことは、府の施策「新たな農政アクションプラン」の推進に向けて、農の成長産業化推進事業の活用により、普及全体で普及の役割、活動のあり方を議論して進めていきたい。</p> <p>■対象者を明確にし個別農業経営に深く関わる取組については、評価いただいたように、経営意欲を高める集団指導の仕組みとともにコンサル事業を適切に進めていく。</p>